

学校名 ( 宍粟市立一宮北小学校 )

実施日：12月8日（3校時）	
領域：特別活動 学級活動	
取組名：ジェンダーレス制服って何だろう	
対象：6年生	実施場所：教室
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする実践的な態度を育てる。</li> <li>・ 男女別の制服を着ることに悩みをもっている人がいること知り、どうすればみんなが安心して学校生活を送ることができるのかを考えさせ、性の多様性を理解することの大切さを認識させる。</li> </ul>	
<p>イ 指導内容（指導略案）や取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケート結果から本時のめあてを知る。</li> <li>・ 男女別の制服で悩んでいる人は、どんなことに悩んでいるのか考えさせる。</li> <li>・ ジェンダーレス制服とこれまでの制服の写真を見比べることで、性差によらない制服になっていることに気づかせる。</li> <li>・ ジェンダーレス制服を取り入れると、問題が解決できるのか考えさせる。</li> <li>・ 本時の学習を振り返らせる。</li> </ul>	
ウ 連携先：宍粟市人権推進課、宍粟市立一宮北中学校、家庭	
<p>エ 連携にむけての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一宮北中学校でジェンダーレス制服に変更することについて、制服検討委員会やPTA等で話し合いがもたれるようになった。そのような動向を捉えて今回の題材を扱うことを考えた。</li> <li>・ 宍粟市人権教育課の方に資料や授業についてのアドバイスをいただいた。</li> <li>・ 家庭には、授業の様子を学級通信で知らせた。</li> </ul>	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行う上での工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9年間（小学校1年から中学校3年）を通した性の多様性の授業カリキュラムを作成するため、小中全職員で夏季研修を実施し、指導案を検討した。</li> <li>・ 学年に応じて計画的に性の多様性の授業を進めている。</li> <li>・ 授業の様子を動画で撮影し、小中職員がいつでも視聴できるようにしている。</li> <li>・ 教職員や宍粟市人権推進課の方が授業を参観し、意見交換し合っている。</li> <li>・ 各教科・各領域を通して、伝え合う活動を取り入れた授業実践を行うことを小中全職員で意思統一している。ペア学習を活用し、相手の考えや意見を受け止めてから自分の考えを伝えるように指導している。相手意識をもたせた上で、伝えたいことをまとめさせ、コミュニケーション能力を育てている。</li> </ul>	
<p>カ 評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業中の発言</li> <li>・ ワークシート、感想</li> </ul>	
<p>キ 成果</p> <p>自分たちが今後直面するジェンダーレス制服を題材にしたことで、児童の感想に「性についての差別をなくすためにもっと深く学んでいきたい」とあるように自分のこととして深く考える姿が見られた。</p>	
<p>ク 課題</p> <p>提示した制服会社の写真を見て「制服会社の写真のポーズに性差を感じる」と発言があった。これを新たな課題として位置づけ、中学校でさらに深められるように、継続的に繋いでいきたい。</p>	